

小中学校クラウドドリル教材ソフト使用技術提案仕様書

契約予定期間：令和 6 年 4 月 1 日より 4 年間（令和 10 年 3 月 31 日まで 48 ヶ月）の使用を予定する。

提案するシステムの必須要件は以下の通りとする。

1. クラウド型の学校向け学習ドリルシステムで最新の WindowsOS、ChromeOS、iOS の各 OS に正式に対応したブラウザで操作すること。なお、iOS については Safari またはアプリで動作すること。
2. 小学校 1 年生から中学校 3 年生の 9 年間分、教科は小・中学校とも 国語、社会、算数（数学）、理科、英語の 5 教科の教材を有すること。
3. 契約期間中、最新の学習指導要領に対応し、無償で最新バージョンが提供されること。
4. 児童生徒の解答（手書き入力による解答を含む）を自動採点する 機能を有している。
5. 児童生徒の学習状況を解析し、児童生徒の習熟度に対応した復習 問題・応用問題を自動的に出題する機能を有している。
6. 児童生徒の学習状況（各問題の正誤、正答率、学習時間等）に関するログデータを取得する機能を有している。
7. 教員が問題を選択し、児童生徒に配信できる機能を有していること。
8. データ上で扱う個人情報については、文部科学省「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」（令和 5 年 3 月版）に準拠している。
9. 提案者はプライバシーマークまたは ISMS のいずれかを取得していること。
10. 就業場所は半田市立小学校（14 校）、半田市立中学校（6 校）、半田市教育委員会とする
※別紙就業場所一覧を参照

以下、項目毎の要件について提案すること。

提案書の様式は問わないが A4 縦置き、横書きで作成すること。データは PDF 形式とする。

項番	評価視点	評価要素	小項番	提案要求事項・評価ポイント	配点
1	業務実施体制の信頼性	基本方針	1	本業務の目的及び位置付けを十分理解し、提案にあたっての基本的な考え方が提示されている。	3
				利用者の立場に立った開発及び取組等について提示されている。運用者や利用者への配慮がなされた基本方針である。	3
		導入実績	2	同規模程度以上の自治体での使用実績が提示されている。また、その知識・経験・ノウハウがどのように活かせるか示されているか。	5
		プロジェクト管理	3	本業務を実施する上での具体的なリスクを想定し、その対処方法について具体的に提示されている。また遅延や作業漏れの発見が早期に行える具体的な進捗管理方法及び、遅延発生時における改善方法が具体的に提示されている。	4
		スケジュール	4	仕様書に提示されたスケジュールの遵守に必要な作業項目、期間及びそのスケジュールが具体的に提示がされている。また、学校の負担が少なく無理がない計画であり、保守業者と適切に連携することが説明できているか。	4
	テスト	5	テストの具体的な種別、内容、スケジュールが提示されている。また役割分担が具体的に提示されているとともに、本	3	

				市職員の負担軽減に関する具体的な提案がある。	
2	教材・コンテンツ	教材・コンテンツについて	1	内容・問題量が適切であり、手書き問題が豊富であるか。 また、手書き入力認識については、児童生徒の様々な文字を実用レベルで認識できるか。 各教科書に準拠した内容となっているか。 年度ごとに使用する教科書を任意に選択することができるか。	15
		個別対応性について	2	各児童・生徒が取り組む問題のレベルが適切に設定されているか、また対応している単元が適切であるか。 児童生徒は当該学年以外の学年内容についても学習が可能であるか。 回答状況に応じてつまづきを分析し、分析に基づき次の出題がなされる機能が充実しているか。	15
		セキュリティ	3	児童・生徒情報及び教職員情報などの登録や設定は容易にできるか。転出入があった場合にも容易に設定できる工夫があるか。	6
		操作性	4	ユニバーサルデザインが考慮されるとともに、小学校低学年でも感覚的・直観的に簡単に操作ができるよう配慮されているか。 教職員が児童・生徒に対して、オンラインで個別に問題を配信する際に使いやすいように工夫されているか。	7
3	サービスの信頼性	システム拡張性	1	OS やブラウザ、MS office 等標準ソフトのバージョンアップ等、本市端末等の利用環境変化に対するシステムの対	4

				応、費用などについて考え方が提示されている。	
		運用保守	2	各学校からの問い合わせに本市が別途契約している学校ヘルプデスクと連携して実施する体制が充実しているか。	10
				サービスの向上について、技術的又は運用的観点から有益な提案がされている。	3
4	付加価値提案	利用説明会	1	利用職員（本市職員及び学校教職員）に対するソフト利用説明会が無償で実施されるか。 内容・実施方法、頻度が具体的に提示され、安心して利用できる内容が提案されているか。	10
		要件外機能提案	2	仕様書に記載のないサービスや機能等について、特筆すべき点があるか。	3
5	見積書	ドリル使用見込額	1	見積金額が妥当か	5

<見積書>

金額の記載について

契約予定期間：令和6年4月1日より4年間（令和10年3月31日まで48ヶ月）の年度毎で小中学校別で経費を記載のこと

※令和6年2月17日～令和6年3月31日を準備期間とし、準備期間は金額が発生しないものとする

記載例

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
小学校 児童数	5,930人	5,732人	5,659人	5,502人	-
中学校 生徒数	3,186人	3,232人	3,081人	2,978人	-
小学校					
中学校					
合計					

※単価契約とするため上表の児童・生徒数を参考とすること

※消費税及び地方消費税を除いた金額。導入等の初期費用、ソフト使用説明会、サポート等の費用を全て含むこと。

以上

就業場所一覧

	就業場所	住所
1	半田小学校	半田市勘内町 1
2	さくら小学校	半田市東洋町 1-12-1
3	岩滑小学校	半田市岩滑高山町 5-55
4	雁宿小学校	半田市清城町 1-5-2
5	乙川小学校	半田市乙川北側町 1-1
6	横川小学校	半田市大伝根町 1-11-1
7	乙川東小学校	半田市花田町 3-1
8	亀崎小学校	半田市亀崎月見町 3-10
9	有脇小学校	半田市有脇町 6-37
10	成岩小学校	半田市成岩本町 2-1
11	宮池小学校	半田市南二ツ坂町 2-1-1
12	板山小学校	半田市四方木町 37-1
13	板山小学校 ならわ学園分校	半田市鴉根町 3-40
14	花園小学校	半田市花園町 3-5-1
15	半田中学校	半田市岩滑東町 5-80
16	乙川中学校	半田市大池町 3-1
17	亀崎中学校	半田市亀崎高根町 5-40
18	成岩中学校	半田市昭和町 3-8
19	青山中学校	半田市青山 5-6-1
20	青山中学校 ならわ学園分校	半田市鴉根町 3-40
21	半田市教育委員会	半田市東洋町 2-1